



THE Y'S MEN'S CLUB OF KANAZAWA-SAIGAWA

CHARTERED IN JUNE 12, 1993

AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF
Y'S MEN'S CLUBS

THE SERVICE CLUB OF THE YMCA

KANAZAWA YMCA : 44-1, SATOMICHO, KANAZAWA, JAPAN 920-0998

<http://www.ys-chubu.jp/saigaways/>

国際会長主題 「私たちの未来は、今日から始まる」 “Our Future Begins Today”
 アジア地域会長主題 「ワイズ運動を尊重しよう」 “Respect Y's Movement”
 西日本区理事主題 「ワイズ魂で 更なるワイズの活性化を！」
 “Energizing Y's Men's Clubs with the Y's spirit !”
 中部部長主題 「出会い、ふれあい、響きあい、前へ進もう」
 金沢犀川クラブ会長主題 「平和を実現しよう！」 “Let's be the peacemakers!”

会長：平口哲夫，副会長・書記：北 肇夫，直前会長・会計：澤瀬 諭

今月の聖句：無垢^{むく}であろうと努^{つと}め、まっすぐに見ようとせよ。平和な人には未来がある。
 新共同訳 詩編 37 章 37 節

2017年3月強調月間

JWF

JWFは皆様の厚意によって支えられています。個人やクラブの記念に合わせて献金をお願いします。

森本榮三 JWF 管理委員長 (大阪高槻クラブ)

<p>☆☆☆ 3月第一例会案内☆☆☆</p> <p>日時：3月9日(木)19:00~21:00 会場：金沢都ホテル(JR金沢駅兼六園口前) 会費：3,500円(夕食費含む) 準備：北ワイズ</p> <p>***初日プログラム***</p> <p>司会：竹中ワイズ 開会・点鐘：平口会長 ワイズソング：一同 今月の聖句：司会者 ゲスト紹介：司会者 今月のハッピーバスデイ：平口会長 北ワイズ(26日) 食前の感謝：三谷ワイズ</p> <p>—— 会 食 ——</p> <p>卓話：「日本画について」 前田有加里氏(日本画家)</p> <p>事業委員会報告：各委員 ニコニコタイム：澤瀬ワイズ 閉会点鐘：平口会長</p> <p>*例会に使用済み切手、アル缶、ワス用布製品をご持参下さい。</p>	<p>☆☆☆ 2月例会報告☆☆☆</p> <p>[第一例会] 2月11日(土・祝)~12日(日)、一軒宿の赤穂谷温泉(小松市中海町)、参加者：中川和彦・間塚徳彦(長浜クラブ)、瀧平才治(ゲスト)、北・澤瀬・竹中・平口・三谷。 [第二例会] 2月16日(木)19:00~21:00、竹中チャペル、参加者：北・澤瀬・竹中・平口・三谷。</p> <p>次期会長主査研修会 3月18日(土)~19日(日)、大阪コロナホテル、北次期会長参加予定。長浜クラブ 30周年記念例会 4月1日(土)12:30~、北ビワホテル グラツィエ(長浜市港町 4-17)、北・澤瀬・平口・三谷参加予定。</p> <p>今月の聖句について 「今月の聖句」は、少なくとも平口が担当してからは、新共同訳を採用している。しかし、今回の箇所は、新改訳では「全き人に目を留め、直ぐな人を見よ。平和の人には子孫ができる。」、関根訳では「正しきを守り、直きを心がけよ。そのような人の終わりは平安である。」とされていて、訳し方がかなり異なるので、他訳を紹介する次第である。37節の前半と後半との関連から言えば、関根訳のほうが繋がりがよい。</p> <p>3月の当番 司会：北、準備：澤瀬 《金沢YMCAのホームページ》 http://www.ys-chubu.jp/kanazawaymca/</p>
--	---

当クラブ	2月出席者	2月出席率(正会員)	B Fポイント	ニコニコタイム
正会員 4名	正会員 4名	4÷4×100	前月繰越切手 3,501g	前月累計 74,803円
広義会員 0名	功労会員 1名		2月分切手 62g	2月 7,500円
功労会員 1名	メネット 0名	メーキャップ 0名	今年度累計	
	ビジター 2名		切手 3,563g	
	ゲスト 1名		現金 円	
合計 5名	8名	100%		累計 82,303円

“TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT”

◆ 2月新春特別例会参加記 ◆

澤瀬 論

2017年2月11日(土・祝)～12日(日)に一軒宿の赤穂谷温泉(小松市)で当クラブ恒例の2月新春特別例会が開催された。例会には長浜クラブから中川和彦会長と間塚徳彦ワイズ(地域奉仕・環境)のご両人とゲストとして瀧平才治氏(元・金沢犀川クラブ会員)の参加をいただき、メンバー5名と合わせて8名の例会となった。

当日、日本海側は大雪注意報が出ている中、長浜からの道中が心配ではあったが、無事、宿に到着され安堵。平口会長の卓話「秋のカナタ旅行体験談」を豊富なスライドを見ながら拝聴した。偶然、長浜クラブの間塚ワイズの誕生日が2月9日であったので、当クラブからささやかなプレゼントを差し上げた。例会終了後、お待ちかねの懇親会となり、この地ならではの熊肉や猪肉、岩魚やコイなど、山際ならではの料理の数々に舌鼓をうち、楽しいひとときとなった。長浜クラブのご両人は明日早朝出発のため、帰途の無事を祈り就寝。



(11日、夕食前に記念撮影)



(12日、解散前にロビーにて)

◆ 第2回東西日本区交流会参加記 ◆

平口 哲夫

2017年2月4～5日、御殿場の国際青少年センター“東山荘(とうざんそう)”で開催されたワイズメンズクラブ国際協会第2回東西日本区交流会に参加。米原経由往復や周遊よりも割高だが、今回は快適さを優先させて、東京経由の新幹線乗り継ぎで往復。三島・東山荘間は送迎バスを利用。

東山荘には13:00頃到着、昼食後、まずは富士山を見てやろうと、1号館(斉藤記念館)裏の“夕陽(せきよう)の丘”に登った。14:00本館講堂で開始された第1部「開会式・講演会」のあと、第2部「交流プログラム」は6号館第10会議室で開催の「IBC/DBC」に参加。当初、「ウォーキング」に参加のつもりだったが、事前に東日本区の太田勝人 国際・交流事業委員長(東京世田谷クラブ)からお誘いがあったため、予定を変更。



(4日、交流プログラムIBC/DBCに参加)

第3部「夕食懇親会」(会場:体育館)と第4部「フェローシップアワー」(会場:本館1階食堂)に参加。宿泊室は6号館306号室(2段ベッド4組)、名古屋クラブからの参加者5名と同室。疲れたので風呂に入らずに就寝。

翌朝6:30、「早朝ウォーキング」に参加。東山湖(ひがしやまこ)を反時計回りに散歩してから、キャンプ場で焚火にあたりながら富士山関係のクイズをしたり、シダケの先端に付けたマシュマロを焚火で炙って食べたり。その後、“夕陽の丘”に登って朝の富士山鑑賞。



(5日早朝ウォーキング、東山湖から見た紅笠がけ富士)

9:00から日曜礼拝、10:00から第5部「講演、報告、IBC/DBC締結式、閉会式」。講演は山田公平 前アジア・太平洋YMCA同盟総主事による「ワイズとYMCA、今後への期待」。昼食後、帰路についた。

私の東山荘訪問は、1966年8月18～23日の第75回日本キリスト教青年会同盟夏季学校に参加して以来、51年ぶり。当時の記憶は旧本館と富士山ぐらいなので、今回も初訪問のごとく新鮮な体験だった。

◆ ロシア・バルト海クルーズ体験記(3) ◆

平口 哲夫

2015年8月22日現地時間19:00にドイツのキール港からクルーズ船“MSCオーケストラ”でスウェーデンのストックホルムに向かう船旅は、翌23日が終日航海だったので、二日ばかりで船内散歩、エアロビクス、デッキ6/7シアターショー鑑賞、朝焼け・夕焼け見物などを楽しみました。



(MSCオーケストラのデッキ6にあるサバンナバーにて)



(8月24日現地時間5:23、ストックホルム湾の朝焼け)

(つづく)